

感染症対策用審判マニュアル（改訂版）

静岡県レディースバドミントン連盟 2023.4.5

試合前後において選手同士や審判員との握手は状況に応じて行わない。

【試合前】〈主審〉状況に応じてマスクを着用し、本部に用具を取りに行く。

選手が来たらゼッケン・ウェアなどを確認する。

かごを設置しない場合はマイバッグ（タオル・ドリンク入り）の置き場
に注意する。

整列させ、挨拶。コイントスを片手で行い、審判台に上がる。

練習がある場合ストップウォッチで計測（例えば練習3分の場合

打ち始めからラブ・オール・プレイのコールまでが3分）

〈SJ〉状況に応じてマスクを着用し、本部にシャトルを取りに行く。サービス高測
定器の前に着席する。

〈線審〉状況に応じてマスクを着用し、コートの特角線上に置かれた椅子に着席する。

【試合中】

〈主審〉コールは規定通り行う。

チェンジエズ時、選手のバッグ位置に注意する。

熱中症対策として、インターバル以外でも場合によってはタオル・ドリンク
を主審の判断で認める。

〈SJ〉コールは規定通り行う。

シャトル交換は選手が自身で行ってもよい。

〈線審〉コールは規定通り行う。

ゲーム中主審の指示があった時モップをかける。

【試合終了】

〈主審〉選手を整列させ、規定通りコールし、挨拶する。

勝者サインをもらう。

スコアボード・用具を本部に提出し、チェックを受ける。

〈SJ〉シャトルを本部に返却する。

〈線審〉すみやかに退場する。

※ 物品の定期的な消毒は不要、マスク着用は本人の判断に任せる